

2019 年度 ESD 活動支援センター事業計画概要

全国センターが業務を実施するにあたっては、以下の点を重視する。

- (1) 地方におけるネットワーク形成は、地域 ESD 拠点の活動が活性化することを第一優先とし、ネットワークの形成プロセスや支援方法は地方センターが地域の特性に沿ってそれぞれに形成することを尊重する。また、学校教育と、社会教育を含む学校以外の主体が様々な分野で行う教育・学びをつなぐことに留意する。
- (2) 全国センターはネットワーク形成において、全国で共通して取り組む必要がある事項を整理・提供するとともに、地方センターでは担えない支援を行う。
- (3) 全国センターが担うべき主な役割は以下の 3 点
 - ①環境・開発・人権・平和・防災・消費・文化などの多様なテーマにおいて、全国レベルの多様な主体をつなぐ。
 - ②ESD を推進する人・組織・プログラムなどを、地方の広域ブロックをこえてつなぐ。
 - ③国際機関や海外の先進地域など、ESD に関する国際的な情報をつなぐ。
- (4) 全国センターは、地域のニーズを踏まえ、ESD を推進するための事業や政策を検討・企画・実施する。

2019 年度活動の更なる発展に向けた重点的取組

- (1) 地方センターとの連携・協力体制の強化
 - ・ ESD 活動支援センター（全国・地方）連絡会のより効果的な運営
 - ・ ウェブサイト、SNS による重層的情報発信の継続・強化
 - ・ 地域 ESD 拠点登録による地域の ESD 支援団体の見える化（可視化）及び地域 ESD 拠点間の連携の促進
 - ・ 後援名義申請、相談対応、広報、好事例の共有等における連携の強化
 - ・ 運営委員会委員（地方・全国）の意見交換機会の創出
- (2) 全国レベルの組織・団体等との協力関係の強化
 - ・ 各地方センターによる地域 ESD 拠点形成及び ESD 推進ネットワーク全体の活性化のために、全国規模の組織・団体やネットワーク等との交流の場づくりを含め関係性構築を強化する。
 - ・ 企業団体、経営者団体との連携強化を図る。
 - ・ 広域ブロックにまたがる地域 ESD 拠点等の好事例の共有を推進する。
 - ・ ESD を推進する組織（例：教育委員会）の全国的ネットワーク構築を支援する。
 - ・ ESD 推進のためにさらに連携を進めるべき分野・セクターの企業団体・ネットワークを含む全国的推進団体へのアプローチを行う。分野・対象としては、消費者の賢い選択を促す学び、学校教育関係、自然災害に備える人づくり、国際、気候変動、ユース、体験活動を提供する施設、等。
 - ・ SDGs 推進に向けた意識・行動変革をもたらす人づくりとしての ESD の役割について普及促進、連携を強化する。
- (3) 国際分野の活動の強化

- ・ESD の国際動向や海外駐在者を活用して海外の ESD 活動に関する情報発信を強化する。
 - ・UNESCO、国連大学等との定期的な情報交換を行う。
 - ・相談対応の強化等により日本の団体による国際協力プロジェクトの形成・参加を支援する。
- (4) 人材育成に関する情報の収集・発信
- ・教育委員会が実施する ESD 関係の研修の実施状況を含む、様々な ESD 関連の研修、人材育成の情報を、大学や関係学会等と連携して、収集し、提供する。
 - ・全国センター・地方センターの有する人材育成についての情報共有を進める。
- (5) ESD 推進ネットワークの成果と課題の整理
- ・「持続可能な開発のための教育 (ESD) に関するグローバル・アクション・プログラム」(以下「GAP」) の後継プログラムの策定がユネスコおよび国連で決定される見込みであることを踏まえ、文部科学省・環境省等、省庁および国際機関からの情報収集や情報提供を行う。
 - ・ESD 活動支援企画運営委員会および ESD 推進ネットワークの可視化に関するタスクフォース、ESD 活動支援センター (全国・地方) 連絡会、ESD 推進ネットワーク全国フォーラム 2019、その他の機会を活用し、ESD 推進ネットワークの成果と課題について議論し、整理し、発信する。

事業概要

1. ESD 活動に関する相談・支援窓口

ESD 活動に関する相談や支援の要請に対して、必要に応じて地方センターと連携して、適切に対応する。

2. 各種委員会等

(1) ESD 活動支援企画運営委員会

学識経験者、自治体・NGO/NPO、企業、教育機関等の多分野の ESD 関係者 11 名からなる ESD 活動支援企画運営委員会の事務局を務める。

- 第 1 回 ESD 活動支援企画運営委員会 (7 月 8 日 (月))
議題案：平成 30 年度事業評価、2019 年度主要企画への助言 (ESD 推進ネットワーク全国フォーラム 2019 等)、ESD 推進ネットワークの成果と課題に係る議論等
- 第 2 回 ESD 活動支援企画運営委員会 (2020 年 1~2 月予定)
議題案：ESD 推進ネットワークの成果と課題に係る議論、次年度事業案への指導・助言等

(2) ESD 推進ネットワークの可視化に関するタスクフォース

ESD 推進ネットワークに関する可視化を、学識経験者、地方センター関係者、全国センタースタッフなど 6 名程度で構成する ESD 推進ネットワークの可視化に関するタスクフォース (以下「可視化タスクフォース」) を ESD 活動支援企画運営委員会におき、それを運営する。会議を 3 回開催。

(3) ESD 活動支援センター (全国・地方) 連絡会

地方センター実務上の連絡調整及び ESD 推進ネットワーク全体に関わる必要事項の

ESD 活動支援センター（全国・地方）案を決定する場として設定する。

3. 情報収集・発信

ESD 活動実践者（組織・団体等含む）等に対し、国内外の ESD 活動に関する情報を収集し発信する。

(1) ウェブサイト

① 全国センターウェブサイト

全国レベルのネットワーク組織や関係省庁の関連組織等の協力を得て、また、地方 ESD センターとの連携により、ESD の実践や推進に役立つ情報の収集と発信を行う。

② 地方センターウェブサイト

すべての地方センターのウェブサイト基盤の運用と、4つの地方センターの情報更新

③ SNS

平成 28 年度に開設した、Facebook、Twitter の運用し、ウェブサイト掲載情報の拡散及び独自記事の発信を行う。

(2) ESD 海外通信員の運用

国外在住の ESD 関係者に、居住地を中心とした ESD 情報等の執筆を依頼し、ウェブサイトで公開する。

4. ESD 推進ネットワークの構築

(1) ESD 推進ネットワーク全国フォーラム 2019

ESD 推進ネットワーク全国フォーラム（以下「全国フォーラム」）は、原則毎年 1 回、ESD 推進ネットワークの主たるステークホルダーが一堂に集い、ネットワーク形成の状況を共有するとともに、相互のつながりを構築・強化することにより、ネットワークが成長するための機会として開催する。

■主催 ESD 活動支援センター、文部科学省、環境省

■共催 独立行政法人国立青少年教育振興機構（調整中）

■協力 ESD を推進する全国・地方の組織団体の協力

■日時

2019 年 12 月 20 日（金）13:00-18:00、12 月 21 日（土）9:30-14:30

地域 ESD 拠点特別セッション 14:30-16:00

■会場 国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟国際会議室等

■テーマ（案）：検討中

(2) 地域 ESD 活動推進拠点の形成・活動支援

地方センターと連携して地域 ESD 活動推進拠点（以下「地域 ESD 拠点」）の形成・活動支援を行う。形成・活動支援に際しては、環境教育等促進法に基づく基本方針の変更が閣議決定されたことを受け「体験の場の活用」、および「環境教育における「ESD 推進」のための先導的拠点整備業務」（平成 28 年度～30 年度）の成果を活用。

① 共催・後援、専門家・職員派遣等

② 地域 ESD 拠点登録業務

③ 地域 ESD 拠点への年次アンケート実施

(3) **ESD 推進ネットワークの可視化に関する意見交換会**

全国規模の ESD 推進団体に対しての「調査（アンケート）」を実施し、その報告会を開催し、交流機会とする。10 月頃開催予定。

5. ESD 推進ネットワークを活用した体験の機会の場の拡充

地方センターと連携し、ESD 推進ネットワークを活用した体験の機会の場の拡充に向け、効果的な連携等の事例の検討、周知等を行う。

6. GAP 国内実施計画の実施状況についてのレビュー等

ESD 活動支援企画運営委員会、可視化タスクフォース、ESD 活動支援センター（全国・地方）連絡会での議論を踏まえつつ、政府によるレビューに必要な情報提供を行い、また、ESD 推進ネットワークの成果を整理し、今後の展望について検討する。検討に際しては、「地域循環共生圏」実現のための「人づくり」について考慮する。

7. 年次報告書

2019 年度の活動をまとめた年次報告書を作成し、ESD 推進ネットワークの形成に資するために配布する。